

=====

◇植物ストレス科学研究ネットワークメールマガジン vol.165◇

2024 年 4 月 12 日号 (第 165 号)

=====

———◆◆ INDEX ◆◆———

1. 令和 6 年度植物遺伝資源・ストレス科学研究拠点共同研究採択課題のお知らせ
2. 令和 6 年度“岡山大学資源植物科学研究所一般公開”のお知らせ
3. 大学院進学説明会（オンライン開催）のお知らせ
4. 最近の研究成果について
5. 投稿のお願い
6. 編集後記

———◆◆◆◆———

1. 令和 6 年度植物遺伝資源・ストレス科学研究拠点共同研究採択課題のお知らせ

岡山大学資源植物科学研究所は、平成 21 年 6 月に文部科学大臣より共同利用・共同研究拠点「植物遺伝資源・ストレス科学研究拠点」に認定されました。以後 13 年にわたり公募による共同研究を実施しており、本拠点事業の植物科学研究への貢献は自他共に認めるところとなっています。

令和 6 年度も共同研究課題に多数の応募をいただき、誠にありがとうございました。審査の結果、「重点研究」が 1 件、「若手奨励研究」が 3 件、「一般研究」が追加募集も含めて 45 件、合計 49 件の課題を採択いたしました。本共同研究拠点事業は第 3 期の折り返しを迎え、個々の課題の進展のみならず、課題担当者間の交流から新たな連携や競争的プロジェクト研究への共同申請といった相乗効果も生まれるようになりました。引き続き植物遺伝資源・ストレス科学研究全体の発展に貢献できるよう努力しますので、共同研究に参加される皆様には積極的に当研究所をご利用いただければ幸いです。

採択課題は以下のウェブページよりご確認ください。

<https://www.rib.okayama-u.ac.jp/collaboration/collaboration2/>

2. 令和 6 年度“岡山大学資源植物科学研究所一般公開”のお知らせ

岡山大学資源植物科学研究所では、5 月 11 日（土）に一般公開を開催します。

きて、みて、発見！！植物っておもしろい！

一こどもからおとなまで家族みんな楽しめます！ぜひお越しくださいー

日時；2024 年 5 月 11 日（土）10：00ー15：00

場所；岡山大学資源植物科学研究所

参加費無料、駐車場あり、所内禁煙、休憩所あり。

詳細は以下のウェブページをご確認ください。

https://www.rib.okayama-u.ac.jp/information/open_to_the_public2024/

3. 大学院進学説明会（オンライン開催）のお知らせ

植物研では大学院進学を検討されている皆様を対象に、オンライン大学院説明会を開催します。受験を考えている方も迷っている方も気軽にご参加ください。

参加を希望される方には事前申し込みをお願いしております。

申し込み締め切りは、5月12日（日）です。

【日時】

2024年5月20日（月） 13:00ー17:00頃

2024年5月24日（金） 13:00ー17:00頃

詳細および申し込みは以下のウェブページをご確認ください。

https://www.rib.okayama-u.ac.jp/grdsh/Daigakuin_J/setsumeikai.html

また、5月11日開催の植物研一般公開では大学院についての説明ブースを設置します。予約なしで植物研の様子を見ることができる機会ですので、来所可能な方は、ご活用ください。

4. 最近の研究成果について

Guo, Z., Oradd, F., Bagenholm, V., Gronberg, C., Ma, J.F., Ott, P., Wang, Y., Andersson, M., Pedersen, P.A., Wang, K., Gourdon, P.

Diverse roles of the metal binding domains and transport mechanism of copper transporting P-type ATPases.

Nature communications, 15(1):2690 (2024)

Doi.org/10.1038/s41467-024-47001-4

Dai, R., Yang, S., Pang, T., Tian, M., Wang, H., Zhang, D., Wu, Y., Kondo, H., Andika, I.B., Kang, Z., Sun, L. Identification of a negative-strand RNA virus with natural plant and fungal hosts.

Proceedings of the National Academy of Sciences of the United States of America, 121(12):e2319582121 (2024)

Doi.org/10.1073/pnas.2319582121

Kim, J., Kidokoro, S., Yamaguchi-Shinozaki, K., Shinozaki, K. Regulatory networks in plant responses to drought and cold stress.

Plant physiology, kiae105 (2024)

Doi.org/10.1093/plphys/kiae105

Ozawa, S., Zhang, G., Sakamoto, W.

Dysfunction of Chloroplast Protease Activity Mitigates pgr5 Phenotype in the Green Algae Chlamydomonas reinhardtii.

Plants (Basel, Switzerland), 13(5):10.3390/plants13050606

(2024)

Doi.org/10.3390/plants13050606

Iida, E., Kuriyama, K., Tabara, M., Takeda, A., Suzuki, N., Moriyama, H., Fukuhara, T.
Structural features of T-DNA that induce transcriptional gene silencing during agroinfiltration.
Plant biotechnology (Tokyo, Japan), 40(4):289-299 (2023)
Doi.org/10.5511/plantbiotechnology.23.0719a

5. 投稿のお願い

本メールマガジンや Web サイトでは、植物ストレス科学の研究成果や研究に関する情報の共有を目指しています。

(<http://www.rib.okayama-u.ac.jp/pssnet/>)

PSSNet メンバーの皆様の最新の論文、関連集会やセミナーの案内、人材募集などの共有可能な情報の投稿をお待ちしております。
ご希望の方は、pssnet-admin@okayama-u.ac.jp 宛に情報をお送りください。

また、メーリングリストへの情報提供も随時受け付けております。
セミナーや講演会の開催など、お急ぎの情報は pssnetml@okayama-u.ac.jp 宛てにお送り下さい。

*お送り頂く際には、PSSNet に登録しているメールアドレスからお願い致します。

6. 編集後記

3月17日ー3月19日まで、神戸国際会議場で第65回日本植物生理学会年会が開催されました。新型コロナウイルス感染症が2類相当から5類に移行して初めての年会だったこともあり、5年ぶりに対面でのポスター発表が戻ってきました。300題を超える発表があり、ポスター会場では活発なディスカッションがおこなわれていました。口頭発表はハイブリット形式で実施されましたが、ほとんどの人が会場で発表をしていました。予期せぬ事情でオンラインでの発表に切り替えた人もいと聞き、ハイブリット開催のメリットを感じました。他にも様々な事情で会場に来られない人のためにもハイブリット形式での学会開催は続けて欲しいなと思いました。ハイブリット形式で学会を開催された先生の苦労話を聞くとそんな簡単なことではないとわかっているのですが...

懇親会はクルーズ船で実施されました。ルミナス神戸2という最大で1,000名を収容できる国内最大級のレストラン船でした。当日は寒かったですが天気はよく、予定通り明石海峡大橋の下をくぐって戻ってくるクルージングがおこなわれました。デッキに出て神戸の夜景を楽しむこともできました。ただ風が強くてとても寒く、数分しか船外にはいらられませんでした。それでも明石海峡大橋のライトアップを海上から楽しむことが出来ました。個人的なことですが大学生の頃、フェリーで大阪から大学のある福岡まで帰ったことがあります。フェリーに乗るときは明石海峡大橋のライトアップを見ることを楽しみにしていましたが、その日はUSJで遊び疲れてフェリーが橋の下を通過する頃には爆睡していたため、船内アナウンスにも気づかず、海上からのライトアップを見ることが出来ませんでした。約20年ぶりにそれが叶って良かったです。一緒に参加してい

た学生もクルーズ船での懇親会をとても楽しそうに過ごしていました。久しぶりにお会いする人もいて、ゆっくりと話す機会もあり、とても充実した学会となりました。

話は変わりますが、新しい年度が始まりましたね。本年度も引き続きメールマガジンをどうぞよろしくお願いします。当研究所は「植物遺伝資源・ストレス科学研究拠点」として15年目が始まりました。また今年度からは新しい取り組みとして植物研究拠点アライアンスによるアライアンス・プラチナ枠共同研究が始まります。複数の研究拠点での共同研究を通して、研究がますます発展することが期待されます。

(<https://psca-jurc.com/>)

「植物ストレス科学研究ネットワークメールマガジン」

■発行日 2024 年 4 月 12 日

■発行元 岡山大学資源植物科学研究所

植物ストレス科学研究ネットワーク (PSSNet) 委員会

■WEB サイト <http://www.rib.okayama-u.ac.jp/pssnet/>

メールマガジン登録変更・解除の手続きは

<http://www.rib.okayama-u.ac.jp/pssnet/Registermember.htm>

をお願いします。

(このメールは岡山大学職員が配信しています)

pssnetml mailing list

pssnetml@okayama-u.ac.jp